

新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)事業について

新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)事業の概要(具体的用途等)および効果検証の結果等を公表します。

| ① 具体的用途(経費内訳) | |
|---------------|---|
| 事業内容 | ラジコン草刈機等の購入、維持、町民(登録者)への貸出 |
| 支援対象者 | 町民(登録者) |
| 支出方法(補助、委託等) | 令和7年度の事業開始(機器導入の際)に町が事業主として以下を支払う。 役務費(機器保険料) 74千円 委託料(貸出運用管理) 115千円 備品購入費(機器購入) 2,910千円 |
| 設備・備品の種類 | 乗用草刈機 1台(機種名:CMX2206HC) ラジコン草刈機 1台(機種名:RCM601) 法面草刈機 1台(機種名:SP853A-Y) 運搬用ブリッジ 1組 |
| 詳細な用途 | 農地、農道、遊休耕作地等の草刈りについて、町民(登録者)が使用するために機器を貸し出す。 |

| ② 実施体制 | |
|----------|--|
| 事業推進主体 | 名称:九重町 役割:事業者(備品の購入、維持) |
| 委託先、再委託先 | 名称:九重農機具センター 役割:運用(貸出受付及び保守点検等運用管理) |

| ③ 効果検証の結果 | |
|-----------|---|
| 事業名称 | スマート農業機械を活用した地域活動維持管理支援事業 |
| 交付対象事業費 | 3,099千円 |
| 事業概要 | 当町は、高齢化、人口減少の中、集落の道路維持(草刈り)等大きな課題を抱えている。 同様に、農地、農道等の維持管理についても、農業者の担い手不足から大きな負担となっている。また、草刈り作業については、近年事故の注意喚起がされる等危険も伴っている。 これらを踏まえ、スマート農業機械等を導入し、将来的に持続可能で安全な維持管理体制の実現を目指すもの。 |

| | |
|--------------------------|---|
| KPIの達成状況 | <p>【アウトプット指標(活動指標)】</p> <p>① 貸出利用登録者数</p> <p>目標 2025年度末:42 実績:91 達成率:217%</p> <p>目標 2026年度末:61 実績: 達成率:</p> <p>目標 2027年度末:81 実績: 達成率:</p> <p>【アウトカム指標(成果指標)】</p> <p>① 利用者アンケートによる満足度</p> <p>目標 2025年度末:3.0 実績:4.78 達成率:159%</p> <p>目標 2026年度末:3.0 実績: 達成率:</p> <p>目標 2027年度末:3.5 実績: 達成率:</p> |
| 実施計画と比較した現況 | 想定よりも多くの登録者があり、実際に活用もされている。 |
| 課題の把握 | <p>活用に比例して機器が損耗することから、維持管理についての運用が課題である。</p> <p>なお、状況を見ながら機器の更新等検討していく必要がある。</p> |
| 阻害要因の把握・分析・対応 | <p>事業の阻害要因としては、機器の台数に対して、利用要望が過多になった場合。機器の故障等により、利用が制限される場合等。</p> <p>活用が進めば効果的に対応できる台数について、一定程度の分析ができるため、踏まえた計画を立てる必要がある。</p> |
| 地域のステークホルダーの意見を踏まえた評価の結果 | 住民(登録者)からは、個々の機器への操作技術の差はあれども、おおむね好評である。 |
| 次年度以降に向けた実施計画の見直しの内容 | 現状では貸付料の徴収はしていないが、持続的、継続的な事業とするためにも、維持管理のための一定の費用負担について令和8年4月以降に徴収することを検討している。 |